

放牧酪農

class

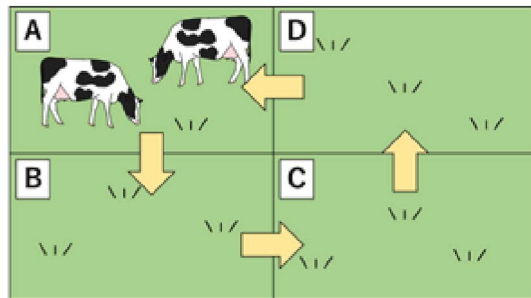
name



△動画視聴はコチラ

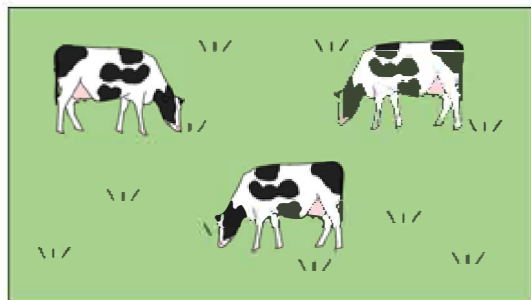
復習 1

動画内で紹介されていた放牧の種類について、
以下の文章に当てはまる言葉を入れましょう。



左図のように放牧地を電気柵などで区切り、牛を
順番に移動させながら行う放牧を（ ）
という。

栄養価の高い（ ）を食べることができる
よう調節できる。



左図のように1つの大きな区画で放牧する方法を
（ ）という。
牛を移動させる手間や柵の管理が少なくすむ。
黒毛和種の繁殖牛で使われることが多い方法である。

復習 2

牛の消化について以下の文章に当てはまる言葉を入れましょう。

牛が体を動かすための主なエネルギー源は（ ）
という物質である。この物質は、（ ）の中にいる1mLあたり
百億から千億生息する微生物（原虫類・細菌類）が分泌する酵素に
よって、飼料中のでんぷんやセルロースなどの（ ）を
分解することで生成される。

また、飼料中のタンパク質は微生物によって分解されて、微生物の
体タンパク質の合成に利用される。微生物の体タンパク質は
（ ）や腸で消化され、（ ）として吸収されて
牛の筋肉などをつくる基となる。

Q1 uestion

動画を見て初めて知ったこと・驚いたこと・印象に残ったことを
書き出してみましょう。

D iscussion

上記で書いたことを近くの人と共有してみましょう。
他の人の意見を聞いて新しく気づいたことがあれば書きましょう。

Q2 uestion

舎飼いと放牧で酪農を行う場合のメリットを「労働」
「牛の健康管理」「環境」の観点からそれぞれ考えてみましょう。

【舎 飼 い】

【 放 牧 】

